

ケアマネみやざき

一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
ケアマネみやざきNo.15
平成27年7月7日発行
発行責任者
担当理事 坂口 和幸

「会長挨拶」

(H27. 6. 7 総会挨拶より)

本日はたいへんお忙しい中に「平成27年度総会」に多くの会員の皆さまにご参加をいただきまして誠にありがとうございます。

日頃より、本協会の事業推進につきましては絶大なるご支援と御協力、御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日は平成26年度事業報告（案）および収支決算（案）についての御協議をいただくことになっております。また総会に引き続きまして、平成26年度の新規事業であります「ケアマネナビゲーター相談・助言事業」についての活動中間報告を予定しております。さらには「認知症連携と地域包括ケアシステム構築」をテーマにランチョンセミナーを、午後には「介護支援専門員の原点を考える！」と題した研修会を開催いたします。

さて会員の皆さま方も御存じの通り、要介護認定者の増加、単独世帯の増加、認知症高齢者の増加、医療ニーズ・介護ニーズを併せ持つ高齢者の増加に加えて、それを支える生産人口年齢者の減少、介護の担い手不足はかなり深刻な問題です。そんな中、国は高齢者の皆さまが住み慣れた地域で尊厳ある生活を可能な限り継続できる体制づくりを促進するために、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築を謳っています。そのためには、それぞれの地域性を踏まえながら医療と介護の関係機関が密に連携し、多職種協働による在宅医療・介護連携体制を構築することが重要であり、その連携の要を担っているのはまさしく私たちケアマネジャーです。

今回実施された介護報酬改定は、中重度の要介護者や認知症高齢者への対応の更なる強化、増大する介護ニーズに対する介護人材確保対策の推進、サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制の構築という基本的な考え方に基づいて行われています。また、持続可能な社会保障制度の確立を図るために、消費税増収分を活用した新たな地域医療介護総合確保基金では、平成26年度の904億円の医療分に加えて、平成27年度は724億円の介護分も予算化されています。宮崎県では長寿介護課に「医療・介護連携推進室」が開設されました。3月17日に県に設置された「在宅医療・介護推進協議会」には20団体の中のひとつの職能団体として「本協会」も参加しています。これから医療と介護の連携が機能的に運営され、在宅医療が率先されることとなります。現在、新しく始まる実務研修、新カリキュラムの法定研修、主任ケアマネ更新制度など、喫緊に取り組まなければならない課題も山積してありますが、私たちケアマネジャーも県や国の施策に積極的に参画できる職能団体として、さらに力を合わせて積極的に取り組んで参りましょう。皆さん、私たちの職種を自ら守り、今後も様々なステージで邁進して参りましょう。



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
会長 牛谷 義秀

平成27年度宮崎県介護支援専門員協会 総会 研修会報告

平成27年6月7日（日）にMR T m i c cダイヤモンドホールにて、平成27年度宮崎県介護支援専門員協会 総会、研修会が開催されました。

総会では、平成26年度事業報告と収支決算報告について協議され、会員の皆様の承認を得て、すべての議案が可決されたことをご報告いたします。

研修につきましては、下の欄で報告いたします。

ケアマネナビゲーター活動報告

平成26年12月から活動開始したケアマネナビゲーター相談・助言事業について担当の川崎智志理事より、ケアナビゲーターの役割と活動報告が行われました。

ケアマネナビゲーターは、地域にある居宅介護支援事業所に出向き、ケアプランに係る業務の相談、介護報酬の解釈等の法的根拠を基に助言をする等、ケアマネジャーが作成したケアプランに特化した個別具体的な支援等を行う事が役割であることを説明されました。

また68事業所の訪問を終えた段階での、主な相談や課題等をあげて活度報告を行い、最後に、ケアマネナビゲーターは介護支援専門員の味方であり、本事業を自身のケアマネジメント確認の機会として活用してほしいと訴えられました。

ランチョンセミナー

熊本県八代市の平成病院 理事長 坂本眞一先生をお招きし「認知症連携～地域包括ケアシステム構築を含めて～」と題して八代市の現状をふまえて講演いただきました。

先生は、利用者の容態の変化に応じて医療・介護が有機的に連携し、適時・適切に切れ目なく提供されることが大事であり、そのためには早期診断・早期対応のための、かかりつけ医の認知症対応力、認知症サポート医の養成が必要であるとお話しされました。



平成病院 理事長
坂本 眞一 先生

シンポジウム

午後からは『アルツハイマー型認知症の夫の介護を通して見えてきたもの』と題し、「認知症の人と家族の会」高山幸子様による講演が行われました。

認知症のご主人の介護を始めた当初は苦痛だった介護が、現在では楽しい介護に変わり、関わり方によっては介護が喜びとなることを実感されているということでした。

実際に認知症介護をされているご家族の想いや認知症介護の考え方を知ることができ、認知症を支えるサービスを利用することの重要性を認識できる講演会でした。



認知症の人の家族の会
高山 幸子 様

今回の研修会すべてにおいて、エーザイ株式会社様に共催として多大なるご協力をいただき盛大に開催することが出来ました。本当にありがとうございました。

地域ブロックネットワーク 及び協会主催研修会報告

県南ブロック研修会 ☆ 平成27年1月10日(土) 高原町総合保健福祉センター ほほえみ館 ☆
テーマ『対人援助について』 講師 Healing forest ～癒しの森～ 代表 明石 二郎 先生

信頼関係を築く上で、一番は傾聴する技術が必要で、話を聞き出す技術ではなく、相手が話したくなる技術が必要と感じられました。

また、相手のペースに合わせるペーシング技術、相手の強さ・良さを引き出すストレングスを演習形式で学びました。

介護支援専門員として最も必要な信頼関係を築くために何が必要なのかを改めて考えさせられる研修会となりました。



西都・児湯ブロック研修会 ☆ 平成27年2月28日(土) 木城町社会福祉協議会 ☆
テーマ『地域ケア会議における介護支援専門員の役割を学ぶ』

講師 高鍋町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 黒木 亮伸 様

地域ケア会議の機能や活用方法について、丁寧且つ分かりやすく説明を頂き、後半では事例を通して地域ケア会議の具体例や必要な視点等を学ぶことができました。

今後、今まで以上に地域でのネットワーク構築が必要となる中で介護支援専門員の役割について学ぶ良い機会となり、あらためて身が引き締まる思いになりました。



施設ケアマネ研修会 (県協会主催) ☆ 平成27年3月1日(日) JA・AZMホール ☆
テーマ『認知症高齢者のケアマネジメントについて』

講師 特別養護老人ホーム 富の里(福岡県) 藤崎 陽子 先生

施設ケアマネを対象とし非会員14名を含めた62名の参加をいただき、研修会が開催されました。

映像を活用し認知症の方の思いを共有したり、グループワークでは本人主体のアセスメントの方法など、さまざまな角度からの講演をいただきました。参加者のお一人からも、明日からの業務に大いに役立つ研修会でしたとのお声をいただきました。



介護保険改正講座 (県協会主催) ☆ 平成27年3月22日(日) JA・AZMホール ☆
テーマ『介護支援専門員のための介護保険改正講座』

講師 日本介護支援専門員協会 相談役 木村 隆次 先生

会員の皆様の関心も非常に高く、参加者377名と大変多くの参加をいただきました。

平成27年度の介護保険改正での、国の現在の動きや考え方、また我々介護支援専門員が、どこに着目しマネジメントをおこなっていかなければならない等の講演とともに、国が私たちに何をしてくれるのかではなく、私たちが国に何ができるのかを考えないといけないとのお話もいただきました。



平成26年度宮崎県介護支援専門員協会研究大会

平成27年2月11日に宮崎市民プラザ4階ギャラリーにおいて、平成26年度宮崎県介護支援専門員協会研究大会が開催され、参加者総数281名と県内各地より多くの会員の皆様にご参加いただき、熱気あふれる研究大会となりました。

またご来賓には、厚生労働省 老健局振興課 課長補佐 稲葉 好晴 様
宮崎県長寿介護課 課長 松田 広一 様 のお二方をお招きし、稲葉様には、午前中に基調講演として「介護保険制度の改正等について」と題し、直近に迫った介護保険制度改正の国の動きについて、ご講演頂きました。

また、午後からは3分科会に分かれ、パネリストより各テーマに沿った報告が行われました。報告終了後は各会場ともに質問票が多く挙げられ、大変有意義な分科会でした。

そして、特別ゲストとしてみやざき犬「むうくん」がキレッキレのダンスを披露してくれて参加者全員に癒しをあたえてくれました。



宮崎県介護支援専門員協会会員数の動向

平成27年7月現在の地域ブロックネットワーク別会員数

ブロックネットワーク別	正会員	準会員
宮崎・東諸県	590	12
小林・えびの・西諸	105	0
西都・児湯	81	0
日南・串間	110	1
都城・北諸県	171	3
日向・東臼杵	124	0
延岡・西臼杵	118	0
合計	1,299	16

平成26年度新たな介護支援専門員が356名誕生しました。

一人でも多くの介護支援専門員の皆様に県協会に入会していただき県協会並びに日本協会をより一層、盛り立てていけるよう、入会へのご協力宜しくお願い致します。

編集後記

4月に、介護保険制度改定が実施されはや3ヶ月が過ぎ去りました。細かい変更点などで頭を悩ます2か月間ではなかったでしょうか。

そんななか国では、はやくも平成30年度を見据えた社会保障審議会介護給付費分科会が着々と進められています。現在、ネットなどで分科会の資料は素早く入手することが出来ます。3年後に慌てることが無いように、チェックを怠らず、また介護支援専門員としての地位が確立されるように微力ながら頑張りたいと思う今日この頃です。

K. S